

No. 2402

新緑とギフチョウに会えるかも 石砂山～石老山

実施日 2009年5月10日(日)
 天候 快晴
 リーダー 馬場 清士
 参加者 上野キヨ、若村貴世子、斎恵美子、山口駿三、岩井康子、小池述史、馬場清士、涌井良明、島本陳重、福島政幸、鈴木政三、山崎富美恵、鈴木恵美子、子村井好枝、荻野智恵子、金本英雄、山田志子
 計 17名

費用 2,000円

タイム 藤野駅(8:00ハ入)菅井下(8:40)伏馬田城跡(9:20～9:30)石砂山(10:35～11:15 昼食)篠原(12:05)登山口(12:15)金毘羅神社(13:10)石老山(13:40～14:15)大明神展望台(15:00)箕石橋(15:55)ピクニック前(16:15～16:33ハ入)相模湖駅(16:50)



え菅井下で降りた。

想した通りここで降りたのは我々だけであった。以前は菅井小学校があったが、廃校になり今はアートクラフトの展示場となっている。

軽い準備運動をして、人の気配の無いのどかな里山に行く、ツツジがそこ此処に咲いている。

登山道に入ると杉林で鬱蒼としていて薄暗い。暫く杉林の中を歩き、急な階段状の道を行くと伏馬田城跡だ。

そう広くもない山頂にどんな城が建っていたのだろうか、尾崎行雄の祖先が城主であった



と案内板に記されている。急降下を避けて来た道を戻り、分岐から巻き道を石砂山へ向かう。芽吹きの新緑は過ぎて、透きとおるような新緑が美しい。

左下には相模湖カントリーが樹間に見える。登りに差し掛かり、新緑の中を一気に石砂山へ向こうに丹沢山塊が望めて素晴らしい眺めだ。



何処で吸い付かれたか分からないが、一人がスラックスに血が滲んでいるので、裾を捲って見るとヒルが吸い付いている。皆がびっくりして、裾を捲ってみると、何人かの人の靴下から血が滲んでいる。一頻り、ヒル談義だ。

昼食後、新緑の尾根道を篠原へ下る。

518号線を暫く行き石老山への登山道に入る。ここから標高差400メートルを一気に詰める、今日の山行で一番きつい登りが待っている。

金毘羅神社で休憩を取り、最後の登りに掛かる。石老山の山頂は数組の登山者が夫々休息を取っていた。山頂からは、丹沢の山々が遠望出来た。

山頂からアップダウンを繰り返して、大明神展望台に着く。相模湖を眼下に、陣場山をはじめ影信山や奥多摩の山々が望める。展望台からジグザグに下り、さらに沢沿いに下りキャンプ場を経て、ピクニックランド前のバス停に出た。

新緑とレンゲツツジを楽しんだ一日でした。参加された皆さんお疲れさまでした。



(記・馬場 清士)
(写真提供・涌井良明)